

令和5年度 伊予中学校 学校評価

令和5年12月実施

1.◎できている、2○ややできている、3▲ややできていない、4×できていない

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1,2の計)	
					1	2	3	4		
学習指導と教育課程	年間計画どおりに学習指導が進めている。 目標値:肯定率80%(教①)	A	今年度からコロナ禍以前の学習活動を取り戻してきており、授業時数の確保はできている。来年度に向けて、積み残しが無いよう各教科で進捗状況を把握して進めたい。	教職員① A	41	47	12	0	88	
	よく分かる授業に努めている。(よく分かる授業をしている。)	A	「できている」「おおむねできている」と評価している生徒が85%おり、高評価である。保護者の評価も昨年度より6%上昇した。継続して「分かる授業」を推進できるよう各教科で工夫に努めたい。	教職員② A	24	71	6	0	94	
	自分の考えをまとめたり、伝え合う授業改善に取り組んでいる。(生徒:じっくり考え、進んで発言・話し合い。)	A	生徒の評価がBであるが昨年度より6%上昇した。ロイノートなどICTを取り入れて、練り合い、高め合う授業改善を目指してきた成果と考える。今後も各授業の中で、様々な形態で話し合い活動を積極的に取り入れ、深い学びにつながるような授業改善を図りたい。	生徒①① A	46	39	10	6	85	
	道徳の時間を要に「心を耕し鍛える」道徳教育を推進している。(自分の思い・考えを深めている。)	A	各学級で充実した道徳の授業が進められ、生徒の満足度は一層高くなった。今後も自分の思いを伝え合い、深め合う授業改善を目指して校内研修を充実させ、教師の授業力を高める研修体制を整える。	保護者⑥ B	19	58	16	7	77	
	授業に真剣に取り組む、学力向上を目指して努力している。	A	全体的には肯定率が高い評価結果である。地域ボランティアに入っていたいただいた個別最適な学びも充実してきた。3や4と回答している生徒も減少した。今後も生徒に基礎・基本を確実に定着させる指導を充実させていきたい。	地域	-	-	-	-	-	
	家庭での学習習慣が身に付く指導をしている。(身につけている。)	B	教職員・生徒と保護者の間で評価での差が感じられ、全体としても改善が望まれる。適切な課題の出し方を工夫し、家庭学習の効果的な取り組み方を継続して指導するとともに家庭との連携を深め、家庭における学習習慣を一層身に付けさせていきたい。	教職員③ A	18	76	6	0	94	
	生徒会活動・学校行事・部活動等で充実した活動を展開している。(充実している。)	A	小中合同運動会の復活などコロナ禍以前の活動を取り戻し、生徒は充実感を感じることができた。保護者も生徒の成長の様子を間近で観ることができ、喜びを感じている。今後も、見直しを行いながら、南伊予の伝統を効果的に発展させるよう教育活動を充実させる。	生徒② B	28	48	20	4	75	
	伊予中「私たちの信条」に取り組むよう継続的に指導している。(実現できるよう取り組んでいる。)	A	校長のリーダーシップの下、伊予中「私たちの信条」を基本とした教育活動を実施できた。今後も一層の充実を図りたい。	保護者	-	-	-	-	-	
	学校関係者評価委員の所見	今年度から、コロナが5類となり、コロナ以前と同様の生活が戻ってきている。それとともに、生徒の学習の場もしっかりと確保できるようになっている。今後も伝統を大切にしながら、継続するものと見直すもの明確化と一層の改善を図り、生徒の学力向上や教育活動の充実につなげてもらいたい。	学校の対応	今年度は、南伊予伝統の小中合同運動会を復活させることができ、生徒は充実感を味わうことができ、地域の担い手として成長した。保護者・地域からも好評であった。今後も南伊予の伝統を大切にしながら、生徒の成長を効果的に促すことができるよう見直しを行い、教育活動の充実を図っていきたい。	地域	-	-	-	-	-
	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員④ A	24	59	18	0	82	
人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	生徒⑤ A	56	39	4	1	95		
地区別懇談会が再び開催されるようになり、生徒が進んで参加してくれていることは、地域の人権・同和教育の啓発に大きく貢献しており、ありがたい。参観日に小中合同の学習会を実施したことも保護者の啓発に大いに役立った。今後も地域と協力して取り組んでもらいたい。	学校の対応	今年度も人権委員会を立ち上げ、生徒が地域に出て行って、地域の方とともに人権意識の高揚を図り、行動した。学んだことを基に、人権集会を実施して全校生徒で共有化した。今後も教職員の研修を推進するとともに、生徒の変化を見逃さず、保護者と連携し、安心して学校生活ができるよう努める。	保護者① C	12	43	30	14	55		
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑤ A	24	76	0	0	100	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	生徒① A	38	52	7	3	90	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	保護者	-	-	-	-	-	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	地域	-	-	-	-	-	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑥ B	12	59	29	0	71	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	生徒⑦ B	30	45	20	5	75	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	保護者① C	12	43	30	14	55	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	地域	-	-	-	-	-	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑦ A	35	65	0	0	100	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	生徒④ A	54	37	7	2	91	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	保護者④ A	36	58	4	2	94	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	地域	-	-	-	-	-	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑧ A	24	65	12	0	88	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	生徒⑥ A	31	49	17	3	81	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	保護者	-	-	-	-	-	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	地域	-	-	-	-	-	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑨ A	35	59	6	0	94	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	生徒⑮ A	45	45	7	2	91	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	保護者⑧ B	28	49	16	7	77	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	地域	-	-	-	-	-	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑩ A	18	82	0	0	100	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	生徒⑧ A	59	38	1	2	97	
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができている。保護者の評価も6%上昇した。今後も家庭との連携を密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	保護者⑨ A	26	60	11	4	86	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度も人権委員会を立ち上げ、地域の方々の協力を得て活動を推進し、地域とともに人権意識の高揚を図り、実践力を高めた。今後も全校生徒一人一人の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団づくりを目指す。	地域① A	58	37	2	0	95	
学校関係者評価委員の所見	地区別懇談会が再び開催されるようになり、生徒が進んで参加してくれていることは、地域の人権・同和教育の啓発に大きく貢献しており、ありがたい。参観日に小中合同の学習会を実施したことも保護者の啓発に大いに役立った。今後も地域と協力して取り組んでもらいたい。	学校の対応	今年度も人権委員会を立ち上げ、生徒が地域に出て行って、地域の方とともに人権意識の高揚を図り、行動した。学んだことを基に、人権集会を実施して全校生徒で共有化した。今後も教職員の研修を推進するとともに、生徒の変化を見逃さず、保護者と連携し、安心して学校生活ができるよう努める。							

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1,2の計)
					1	2	3	4	
生徒指導	いじめ、不登校に対して誠実な態度で未然防止、早期発見、早期対応に努めている。 目標値:肯定率80%(教⑪・生⑬・保⑩)	A	アンケートや日頃の観察等により未然防止や早期発見・早期対応に取り組み、成果が上がってきた。いじめはどの学校でも起こり得ることを前提に、これまで以上に高い緊張感を持って当たる。不登校生徒について、今後も保護者と連携して心のケアや学力保障、登校に向けた取組を充実させる。	教職員⑪ A 生徒⑬ A 保護者⑩ A 地域	24 57 32 -	76 34 48 -	0 7 12 -	0 2 7 -	100 91 80
	様々な機会を通じて生徒と関わり、生徒理解に努めている。 目標値:肯定率80%(教⑫・生⑭・保⑪)	A	毎日の日記指導や日頃の観察や言葉掛けなどにより、生徒理解に努めてきた。様々な原因で登校に不安を抱えている生徒が安心して学校生活に取り組むことができるように、保護者やスクールカウンセラー等との連携を図り、個別の生徒指導を充実させる。	教職員⑫ A 生徒⑭ A 保護者⑪ A 地域	24 52 30 -	76 36 57 -	0 8 9 -	0 4 4 -	100 88 87
	生徒も教師も気持ちのよいあいさつができる。 目標値:肯定率80%(教⑬・生⑯・保⑤・地②)	A	地域の評価が昨年度BからAに上昇するなど、挨拶の活性化に向けた毎日の地道な取組が功を奏してきている。今後も挨拶を生徒理解・生徒指導の基礎基本として取り組んでいきたい。	教職員⑬ A 生徒⑯ A 保護者⑤ B 地域② A	35 43 33 31	65 45 46 52	0 9 15 14	0 3 6 3	100 88 79 83
	朝食をとる、身だしなみを整える、時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。(身に付けている。) 目標値:肯定率80%(教⑭・生⑨・保②)	A	肯定率が高いが、保護者の評価がAではあるが7%減少した。今年度は学校保健委員会を復活させることができた。好ましい生活習慣が定着するよう、あらゆる場面を通じて保護者と連携し、継続して指導していきたい。	教職員⑭ A 生徒⑨ A 保護者② A 地域	41 65 38 -	59 27 45 -	0 6 13 -	0 3 4 -	100 92 83
学校関係者評価委員の所見	挨拶が盛んになってきている。今後も日頃から子どもたちの観察を行い、気軽に話し合える環境を整え、いじめ、不登校の未然防止、早期発見に努めてもらいたい。スマートフォン等情報セキュリティや性教育、がん教育等について、専門家呼んで話を聞く機会があるのは大変有意義である。		学校の対応	昨年度は、保護者の評価で3つの項目がBであったが、今年度は1つの項目だけとなり、生徒・教職員・地域の全てが全ての項目でAの評価となった。今後も、保護者・地域とともに、挨拶を基本として生徒理解を深め、生徒指導を充実させたい。					
安全管理	保護者・地域と連携し、地域ぐるみの安全確保に努める体制ができている。(生徒:安全な登下校) 目標値:肯定率80%(教⑮・生⑩・保⑫・地③)	A	地域の方からの情報を基に、自転車の乗り方等登下校の交通安全について継続的な指導をすることができた。また、イノシシ等安全に関する情報を地域と共有する仕組みができ、迅速な対応ができた。	教職員⑮ A 生徒⑩ A 保護者⑫ A 地域③ A	35 80 28 43	59 18 62 43	6 1 6 3	0 2 4 2	94 97 90 87
	避難訓練等を計画的に実施し、非常時に対応できる体制をとっている。 目標値:肯定率80%(教⑯・生⑰・保⑬)	A	地震や火災に対する避難訓練や垂直避難訓練、予告なし訓練を実施した。生徒・教職員がともに真剣に訓練に取り組むことにより、高い意識を持つことができた。今後も、想定外でも生徒が主体的に命を守る行動をとることができるよう指導の充実を図る。	教職員⑯ A 生徒⑰ A 保護者⑬ A 地域	71 73 38 -	29 25 55 -	0 1 6 -	0 0 1 -	100 99 93
	校内安全点検を定期的実施し、潜在危険の除去に努めている。 目標値:肯定率100%(教⑰)	A	施設の老朽化に伴う破損箇所が多かった。早期発見、早期修繕により、生徒が安全に学校生活を送れる環境を整えている。今後も校内点検を継続し、安全な施設環境を保つよう取組を推進する。	教職員⑰ A 生徒 保護者 地域	53 - - -	47 - - -	0 - - -	0 - - -	100
学校関係者評価委員の所見	地域との連絡・連携体制が確立しており、イノシシの早期の捕獲など、生徒の安全を守る体制ができている。不審者情報等について、保護者へメール配信を行うなど、連絡体制もできている。引き続き連携を密にして生徒の安全確保に努めてもらいたい。		学校の対応	登下校時に危険となる箇所の見回りを強化し、生徒が安全に通学ができるよう細やかな指導をしている。引き続き年度初めの交通安全教室や平素の安全指導、登下校指導に努め、交通ルールやマナーの遵守や、状況に応じて主体的な行動をとることができるよう指導を充実させる。					
特別支援教育	学習が遅れがちな生徒や配慮を要する生徒への適切な指導ができている。(個別指導や学習相談等) 目標値:肯定率80%(教⑱・生⑲・保⑦)	A	地域の方による学習支援ボランティアの協力により、生徒の個別最適な学びを実現し、基礎基本の定着を図ってきた。保護者の評価もBだが9%上昇してきた。今後も継続して学習指導の充実を図っていく。	教職員⑱ A 生徒⑲ A 保護者⑦ B 地域	18 51 23 -	76 35 54 -	6 10 18 -	0 4 5 -	94 86 77
	特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ協力体制を整えている。 目標値:肯定率80%(教⑲)	A	支援が必要な生徒について、定期的に職員会等(ケース会議)を開催し、全教職員で共通理解を図り、一貫した支援を行ってきた。今後も生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、支援を充実させていく。	教職員⑲ A 生徒 保護者 地域	35 - - -	65 - - -	0 - - -	0 - - -	100
学校関係者評価委員の所見	支援が必要な生徒に対する個別の支援が行われている。理解が進まない生徒について、地域ボランティアを活用したり、教員が個別に関わるなど対応をしたりしてもらっている。生徒同士で教え合う体制作りに取り組んでいるのが良い。今後も引き続き支援をしてもらいたい。		学校の対応	昨年度より、生徒・保護者の肯定率が上昇した。コンエンドは地域ボランティアの協力を得たり、教職員が個別に学習相談を実施したりするなど、誰一人取り残さない個別最適な学びの実現を目指してきた。引き続き教職員の連携を密に取るとともに、保護者や関係機関と協力しながら、適切な支援や指導ができるよう取り組んでいきたい。					

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1,2の計)		
					1	2	3	4			
研修	研修計画に沿って授業研究に取り組み授業力の向上に努めている。 目標値:肯定率80%(教⑳)	A	概ね研修を計画どおりに進めることができている。ICTの活用など、積極的な授業研究を通して指導の改善を進めた。今後も「分かる授業」を展開するため、各教科の指導方法の改善や、教職員の研修を計画的に実施したい。	教職員⑳	A	18	76	6	0	94	
	健全な社会人として信頼されるよう努めている。 目標値:肯定率80%(教㉑)	A	今後も教育公務員としてのサービスの徹底や後期の厳正を推進し、心身共に健全であるよう業務改善を進め、生徒や保護者、地域から信頼される教職員を目指す。	生徒 保護者 地域		-	-	-	-		
学校関係者評価委員の所見	ICTの活用を踏まえた授業改善の取組がなされている。今後も教職員の授業改善を進めつつ、指導力の向上を目指してほしい。		学校の対応	業務改善を一層進めることにより、教職員が生き生きと子どもたちの指導に当たることができるように努めたい。また、保護者・地域から信頼されるよう、引き続きサービスを徹底したい。	教職員㉒	A	47	47	6	0	94
地域連携	学校教育の様子を学校だよりやホームページ等で情報発信している。 目標値:肯定率80%(教㉒・生⑱・保⑭・地④)	A	今年度も学校だよりやホームページなどの機会を可能な限り活用して学校の様子を伝えることができるよう努めてきた。PTAの尽力により、大変充実した広報誌が発行された。今後も一層の充実を図りたい。	生徒 保護者 地域	⑱ ⑭ ④	A A A	59 37 63	35 50 30	0 8 2	6 6 0	94 88 86 93
	地域の教育資源(ひと・もの・こと)を生かした活動を推進している。「来てもらったり、出向いたり・・・」 目標値:肯定率80%(教㉓・生⑲・保⑮・地⑤)	A	今年度も、地域の方の協力の下、地域調べ、職場体験学習、地域貢献活動などの校外学習や、しめ飾りづくり、児童生徒をまもり育てる協議会や民生児童委員連絡協議会を実施でき、生徒は充実した学びと安心な生活をする事ができた。今後も一層の充実を図りたい。	生徒 保護者 地域	⑲ ⑮ ⑤	A A A	47 59 39	47 33 50	6 6 6	0 2 5	94 92 89 85
	学校から発信した文書類は、保護者の手元に確実に届いている。 目標値:肯定率80%(生③・保③)	B	今年度は生徒の評価がAをわずかに下回った。保護者も手元に届きにくいと感じている。重要な件についてはラインズメールを活用したり、校内放送等で生徒への徹底を図ったりしてきた。今後も確実に学校からの情報が速やかに伝わるよう継続して指導する。	教職員 生徒 保護者 地域	 ③ ③ ③	 B B B	 44 24	 35 39	 18 26	 3 11	 79 63
	学校、PTA、地域はリサイクル運動等様々な行事を通して、よく協力して活動している。 目標値:肯定率80%(教㉔・生⑳・保⑯・地⑥)	A	リサイクル運動や教育後援会の寄付金では、今年度もPTAの尽力の下、地域の方の協力を得て実施することができた。今年度は、PTAが運動会でバザーを実施することができた。今後も役員の負担軽減を図りながら、効果的で充実した活動となるよう努める。	教職員 生徒 保護者 地域	㉔ ⑳ ⑯ ⑥	A A A B	59 61 51 39	29 30 45 39	12 7 3 10	0 2 1 0	88 91 96 78
学校関係者評価委員の所見	学校からの文書類について、保護者へのメール連絡や生徒への注意喚起がなされていた。「伊予クリーン運動」等地域活動への協力もお願いしたい。		学校の対応	今年度も、学校便りやホームページの充実を図ってきた。リサイクル運動でも、地域の方々から協力を得ることができた。公民館や地域の方々のお陰で、生徒の成長を確かめることができた。今後も保護者や地域との連携を大切にして教育活動を進めたい。	教職員㉕	C	24	29	41	6	53
施設	施設・設備や教材・教具が充実していて、活用している。 目標値:肯定率80%(教㉕・生㉑)	B	限られた予算の中ではあるが、必要性の高い教材・教具から順次購入していくようにしたい。	生徒 保護者 地域	㉑ 	A 	45 	37 	13 	5 	82
学校関係者評価委員の所見	歴史のある学校のため、施設に傷んだ箇所も目立つようになってきている。予算的に厳しいとは思いますが、今後も修繕を考慮願いたい。		学校の対応	現有の施設・備品を感謝の気持ちを持って丁寧に使用していくようにしたい。破損箇所は市教委と相談しながら修繕しており、今後も可能な限り速やかに対応したい。							